

## 洋友会・会社在任中の思い出

定年退職して早20年、私も満80歳になりますが「コロナ騒動」にも、負けず元気で過ごしています。退職後、洋友会四国地区に所属して13年余り、洋友会の世話係として働かせて頂きました。



平成22年4月22日 【四国は一つを心掛け、会員各自は、交流会に積極的な参加をして、親睦を広げよう】 をテーマに掲げて会長職をお受けしました。

当時、会員総数97名、四国地区独自の会員による日常生活等々・報告する「リレーエッセイ」連続36回発行しておりました。

当日の四国地区総会には、会社代表として三洋電機人事本部より来高して、ご来賓挨拶を頂くなど、当時まだ「三洋電機の良き時代の名残」が平成22年頃迄ありました。

平成23年リレーエッセイの自主投稿者もなくなり「リレーエッセイ発行の危機」になり、急遽会長名にて原稿作成の案内状を会員個人を指名して、原稿の送付協力をお願いしました。その後は毎年5名指名して、原稿を事前準備するようにしました。現在も、このリレーエッセイは、連続して発行されています。今回で99号になりました。

平成24年迄、毎年2月度を除いて、月一回開催している「親睦ゴルフ会」も毎回20名余りの参加者があり、会員個人別のスコア集計、ハンディ表の作成、次回開催日の準備に、大変な手間がかかりましたが、盛大なゴルフ親睦倶楽部に発展しました。

また平成24年6月には、「洋友会四国地区・洲本地区との懇親ゴルフ」を香川県のエリエールゴルフ倶楽部で31名の参加者にて開催しました。その後毎年、四国地区の主催にて、洲本地区との懇親ゴルフをしてみましたが、コロナ騒動後休止しております。

平成26年4月四国地区総会に、初の外部講師を招いて、総会記念講座「相続を争続にしない為に」をテーマに三井住友海上の檜垣支社長講演を開催しました。

会長在籍中、良かった点は四国だよりの継続発行と、リレーエッセイを連続で52号迄発行出来ました。残念な点は会員総数が99名まで増えましたが、100名にならなかった点、また洋友会運営には、「財政の健全化」を常に考えて、経費の削減や受益者負担金の徹底を、役員・お世話係の皆さんに、大変無理なお願いして、多々ご迷惑をおかけしたにもかかわらず、会長在籍中、ご協力ありがとうございました。

気候温暖な災害の少ない自然に恵まれた環境のなか、香川県で育った私が全国組織の三洋電機に入社し、サービス会社を振り出しに、三洋電機クレジット・四国地区・中国地区・中部地区・北海道地区・東北地区と転勤しながら、地区毎の日常生活の風習の違いや戸惑いは、職場の皆さんの御指導と協力を頂き、楽しく過ごさせて頂きました。赴任先では、人々の出会い、たくさんの気づきを与えてくださって、貴重な経験となりました。今でもお付き合いしている「友人が出来た」事が大きな財産となっております。

各地でお世話になった、三洋電機グループ会社の皆さん・同僚だった皆さんに、深謝しています。

また私の在籍中三洋電機クレジットが「東証一部に上場」出来た時に、一人の社員として働いていた事が、社会人の私にとって、一番大きな出来事だったと思います。

【平均寿命迄・後わずかの年数・・・これからどう生きるのか?】

- ① 10年余り続けてきた、ウォーキング 一日8000歩を目標に歩く
- ② 八畝の畑で、野菜作り、雑草を生やさないように管理したい・・・???
- ③ 趣味の年間計画
  - ・ゴルフ 60回
  - ・宇和海での磯釣り 12回
  - ・鳴門渦潮タイ釣り 10回・・・

健康第一に、自然好きな人間として、恵まれた環境の中で、妻と一緒に自分流に生きたいと思いつながら・・・ その他の事は、「何事も、妻・主導の日常生活に切り替える事が重要」と思いますので、これからも努力して、妻主導生活行ってゆきます。



畑での野菜作り



鳴門大橋渦潮の中での鯛釣り



磯釣りでのグレ



宇和海日振島の名磯18番